



広告データ利用基準

LINE ヤフー株式会社  
2023年10月1日

## 目 次

第 1 章 広告データ利用基準と利用の可否判断.....	2
1. 広告データ利用基準について .....	2
2. 利用の可否判断と広告主の責任について .....	2
第 2 章 データの授受 .....	3
1. データ授受に関する遵守事項.....	3
2. 当社へのデータ送信 .....	3
3. 当社から取得する広告関連データ.....	4
第 3 章 データの利用 .....	5
1. 慎重に扱うべき個人に関するデータを利用したターゲティングの禁止 .....	5
2. プライバシー性の高い位置情報を利用したターゲティングの禁止.....	5
3. 対象ユーザー数が少ないターゲティングの禁止 .....	6
4. 当社の成長阻害やユーザー離脱につながるデータ利用の禁止 .....	6
5. 広告主、広告代理店の不利益につながるデータ利用の禁止.....	6
6. マーケティング以外を目的としたデータ利用の禁止 .....	6
7. セグメントや行動データ作成時の留意事項 .....	6
8. 未成年者への保護 .....	6
用語集 .....	7
更新履歴 .....	8

## 第 1 章 広告データ利用基準と利用の可否判断

---

### 1. 広告データ利用基準について

広告データ利用基準(以下「本基準」といいます)は、Yahoo!広告および当社が別途定めるマーケティングサービス(以下「Yahoo!広告等」といいます)において、データを利用するときに適用される基準です。Yahoo!広告等でデータを利用する広告主は、本基準を遵守する必要があります。広告代理店など広告主以外の第三者が広告主の代わりに Yahoo!広告等の利用、運用などを行う場合、当該第三者も本基準を遵守する必要があります。

### 2. 利用の可否判断と広告主の責任について

当社は、本基準に基づいて個別に利用の可否を判断していますが、当社の判断は広告主の責任を軽減するものではありません。利用を申し込む際には、責任は広告主自身が負うことを承諾したものとします。

## 第 2 章 データの授受

---

### 1. データ授受に関する遵守事項

当社へのデータ送信、提供、または当社データの取得時に授受するデータが、個人データに該当する場合は、個人情報保護に関する法律に従い対応を行う必要があります。

### 2. 当社へのデータ送信

広告主が当社へデータを送信する場合、以下を遵守する必要があります。

#### (1) 送信を禁止するデータ

広告主が、**Yahoo!**広告等で提供するツールやアプリケーションの機能を利用し、以下のデータを当社に送信することを禁止します。

1. 広告主(広告主自身が取得しない場合は、データを取得する当該第三者)が、マーケティングに利用することをユーザーに説明していないデータ
2. 当社にデータを取得、利用させる場合、その事実をユーザーに説明していないデータ
3. メールやメッセージの本文など、通信内容に該当するデータ
4. 単体で特定の個人を識別できるデータ
5. **Yahoo!**広告等に利用しないデータ
6. ターゲティングによる利用を禁止しているデータ(第 3 章参照)
7. その他当社が不適切と判断したデータ

#### (2) ユーザーへの説明

広告主は、透明性の確保およびユーザーに対する説明責任の観点から、当社にデータを送信する場合、広告主のウェブサイトやアプリケーションなど(以下「対象ウェブサイトなど」といいます)において、プライバシーポリシーや、トップ画面から 1~2 回の操作で到達できる場所に、取得の事実やオプトアウトなどを以下のように説明する必要があります。

1. **LINE** ヤフー株式会社をはじめとする第三者が提供する広告配信サービスを利用するため、当該第三者がクッキーなどによってユーザーの対象ウェブサイトなどの訪問・行動履歴情報を取得、利用することがある旨
2. **LINE** ヤフー株式会社をはじめとする第三者が提供する広告配信サービスのオプトアウト手段により、当該第三者によって対象ウェブサイトなどで収集されたユーザーの訪問・行動履歴情報の広告配信への利用を停止することができる旨

### 3. 当社から取得する広告関連データ

Yahoo!広告等の広告関連データを取得する場合、取得したデータは、当該広告の主体者である広告主の効果測定、その他当社が認めた目的以外に利用することができません。また、第三者のサービスを利用して取得する場合、原則として、当社が認定しているパートナーのサービス以外を利用することはできません。

## 第3章 データの利用

---

### 1. 慎重に扱うべき個人に関するデータを利用したターゲティングの禁止

データを利用するにあたり、データの主体者であるユーザーへの配慮は重要です。ユーザーが不快に感じる可能性が高いため、以下のデータをターゲティングに利用することを禁止します。

#### (1) アイデンティティ、信条

- ・ 性的指向
- ・ トランスジェンダー
- ・ 宗教、信条
- ・ 人種、民族、門地
- ・ 労働組合への加入、労働運動への参加

#### (2) 個人の苦難、苦しみ、悩み

- ・ 経済的貧困、困窮
- ・ 犯罪歴、犯罪被害
- ・ 健康状態、検査結果(病気、障がい、治療、関連サービス)
- ・ 災害被害

#### (3) 知られたくない私生活

- ・ 人間関係
- ・ 性生活、性的嗜好

#### (4) 法的、文化的に守るべきとされる事柄

- ・ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の制限

#### (5) その他当社が禁止する事柄

### 2. プライバシー性の高い位置情報を利用したターゲティングの禁止

位置情報はデータの中でもプライバシー保護の必要性が高いデータです。データ元であるユーザーのプライバシーに関するリスクを伴うため、以下のデータをターゲティングに利用することを禁止します。

#### (1) 慎重に扱うべき個人に関するデータ(第3章第1節参照)を推知しうる場所

#### (2) 自宅及び勤務先の住所(郵便番号より狭域となるデータ)

#### (3) 個人と遭遇できる可能性が高い場所

### 3. 対象ユーザー数が少ないターゲティングの禁止

個人の特定性が高まることによって、ユーザーが不快に感じる可能性があるため、対象ユーザー数の少ないターゲティングを禁止します。

### 4. 当社の成長阻害やユーザー離脱につながるデータ利用の禁止

当社サービスの同業に該当する広告主が、当社のページ閲覧履歴や流出 URL などのデータを利用し、当社サービスの利用者をターゲティング対象としてマーケティングを行うなどの行為は、当社の成長阻害やユーザー離脱につながるため禁止します。

### 5. 広告主、広告代理店の不利益につながるデータ利用の禁止

広告主が、許諾なく当該広告主以外のデータ(広告配信のために当社に送られたデータ、広告配信結果データなど)を利用するなどの行為は、他の広告主および広告代理店の不利益につながるため禁止します。

### 6. マーケティング以外を目的としたデータ利用の禁止

広告主のマーケティングを目的としない(当社および当社サービスの分析を行うなど)データの利用を禁止します。

### 7. セグメントや行動データ作成時の留意事項

セグメントや行動データ作成においては、作成するセグメント名で、セグメント条件や利用するデータがわかるようにしてください。

### 8. 未成年者への保護

未成年者に対する保護対応として、以下を禁止します。

#### (1) 13歳未満のユーザーデータの利用

子どもの保護を強化する観点から、13歳未満の子どものデータ、および13歳未満と推定されるデータの利用を禁止します。

#### (2) 18歳未満のユーザーに対する年齢ターゲティングおよび興味関心に基づいた行動ターゲティング

未成年者は、知識や経験が少ないことから、情報に対する理解力や判断力が十分に備わっていない場合があります。また一方で情報への興味関心が高く、影響を受けやすいとされています。それらの特性を考慮し、安全な広告配信となるよう、上記ターゲティングを禁止します。

## 用語集

本基準内で使用している一部の用語について、以下のとおり定義します。

用語	定義
ユーザー	広告主や当社のサービス・商品の利用者
ターゲティング	広告の表示対象として、一定の条件によってユーザーグループを作成し配信すること
セグメント	ターゲティングされるユーザーグループのリスト
当社サービス	当社が提供する全サービス(LINE、Yahoo! JAPAN など)

## 更新履歴

日付	内容
2014年9月4日	新規作成
2015年6月24日	第4章追加
2017年4月10日	構成変更
2018年8月31日	基準名称変更
2018年9月20日	第1、2、3章変更、第5、6章追加
2019年11月6日	第2、5、6章変更、第7章追加
2021年10月1日	構成変更、基準名称変更、第2、3章変更
2023年2月27日	第1、2、3章変更、第3章8節追加
2023年10月1日	会社合併に伴う、社名関連の表記を変更